

## 第3章

健幸（けんこう）長寿のまち

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)								
311	市民相談課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業のPRや広報も難しい状況であったが、国の行動自粛の緩和策や、国等による宿泊支援事業などの動きに合わせ、市民の保養施設利用者が前年度より増え、事業の目的のとおり市民の健康増進と心身のリフレッシュに資することができている。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											R221	R222	R223	R224	R225	R226	R227	R228	R229	R2210
		根拠法令	R3予算現額											R3決算額(見込み)	所沢バスポート券利用者数	所沢バスポート券を利用した延べ人数	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	従来、所沢バスポート券は、施設一覧などとセットで配付しており、1部につき2枚ついていて、3名以上の利用者の場合は複数部持って行ってもらっていたが、利用しやすさや経費削減のため、追加用のバスポート券を別途用意し、配付を行った。	どのよう貢献したか
		市民保養施設利用事業	事業の目的及び具体的な内容											R221	R222	実績	415人	143人	R3目標	R3実績	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者数が前年度同様低い数値となっているが、目標は達成することができた。	インターネットの普及に伴い、市が行う事業としての役割は相対的に少なくなっている。また、協定解除の申入れがあった協定先もあるため、時事情報の収集を行い、今後の事業のあり方について検討していく。	年齢や性別を問わず、心身のリフレッシュと健康の増進に寄与した。
		期間	H4～											R321	R322	201人	R4目標	R4実績	R4目標	R4実績	210人	市民相談担当 高橋 国弘	
311	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	本計画は、「計画内推進会議」及び「計画推進委員会」において意見を伺いながら適正な進行管理を行っている。当該年度の実績は翌年度に評価を行い、確定するものであるため、令和3年度実績は現在審議中である。このため、実績の確定した令和2年度実績の達成率により、総合評価を「B」とした。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を										
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①計画推進委員会開催日数	計画の各章項目に設定した目標指標達成度について、以下の要件を満たす実績の割合 ・定量的な指標：S、A(=達成率80%以上) ・定性的な指標：◎、○(=改善、継続等)	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	どのよう貢献したか
		根拠法令	R221											R222	②計画内推進会議日数	本計画における、保健・医療・介護・福祉分野の充実を図るために適した目標を設定し、計画を効果的、効率的に推進する。	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	在宅医療に関する講演会の開催等、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した取組について、感染防止対策の徹底や規模を縮小しての開催等、工夫を行い、「未評価」の実績を減らしていく。	当市の保健・医療に関する施策を一体的に推進する保健医療計画を策定・推進することにより、市民の健康づくりに貢献した。
		所沢市保健医療計画推進事業	事業の目的及び具体的な内容											R221	R222	③目標指標達成度	当該年度の実績は翌年度に評価を行い確定するものであり、令和3年度実績は現在審議中である。実績の確定した令和2年度については、全評価項目(38)のうち、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業等を中止したことにより、「未評価」(ー)となった項目が6箇所あったため、未達成となった。	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
		期間	H28～											R321	R322	① 3回(うち1回は書面開催) ② 3日(うち1回は書面会議) ③ 令和3年度は審議中(R2年度:65.8%)	100.0%	65.8%	100.0%	審議中	100.0%	令和3年度実績は現在審議中である。このため、実績の確定した令和2年度実績の達成率により、総合評価を「B」とした。	令和3年度実績は現在審議中である。このため、実績の確定した令和2年度実績の達成率により、総合評価を「B」とした。
311	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	生活習慣病予防に有効な1日の平均歩数が8,000歩であるという中之条研究の成果を参考に指標としている。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を										
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①参加者数	健康マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	どのよう貢献したか
		根拠法令	R221											R222	②一日の平均歩数	生活習慣病予防に有効な1日の平均歩数が8,000歩であるという中之条研究の成果を参考に指標としている。	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
		トコトコ健康マイレージ事業	事業の目的及び具体的な内容											R221	R222	実績	8,000歩	7,242歩	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	本事業を通じて多くの市民の健康維持増進を達成できるよう、さらなる参加者の獲得に向け周知に努めるとともに、参加者が長期間に渡って活動を維持できるよう取り組んでいく。また、外出自粛の長期化により市民の運動不足に伴う体力・身体機能の低下が懸念されることから、市ホームページに掲載している簡単ストレッチや筋力トレーニングの動画の周知を行うなど、自宅でできる健康づくりの提供に努めたい。	日常的にウォーキングを行っていることにより、生活習慣病の予防を図るとともに、健康づくりへの取組を支援した。
		期間	R2.7～											R321	R322	① 10,752名 ② 7,029歩	8,000歩	7,029歩	8,000歩	7,029歩	8,000歩	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛が呼びかけられたことから、参加者が外出を控えたため、歩数が伸びなかったと考える。	健康づくり支援課長 並木 教至
312	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	4か月児健康診査から「健やか親子21(第2次)」計画の乳幼児健康診査におけるアンケート調査項目を設定。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を										
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①電話、窓口、面接、訪問等による相談	妊娠・出産について満足している親の割合	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	どのよう貢献したか
		根拠法令	R221											R222	②マタニティコール	妊娠・出産について満足している親の割合	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R3目標が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
		子ども・子育て支援法	事業の目的及び具体的な内容											R221	R222	③母乳相談	妊娠・出産について満足している親の割合	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
		健康づくり支援課	事業の目的及び具体的な内容											R221	R222	④産後ケア(宿泊型)	妊娠・出産について満足している親の割合	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																											
				会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)																										
312	健康づくり支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額 R2決算額 11,379千円 10,817千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 14,386千円 11,110千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.15人 1人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 1,225千円 0.5人 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.43人 0.5人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 3,431千円 0.5人	R2予算現額 R2決算額 7,345千円 5,414千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 6,361千円 6,215千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.31人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 2,532千円 0人 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.29人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 2,314千円 0人	項目名 ①不妊・不育症検査の申請件数 ②不妊治療の申請件数 実績 ① 192件 ② 67件	指標名 申請件数(合計) R2目標 R2実績 240件 261件 R3目標 R3実績 240件 259件 R4目標 R4実績 285件	目標設定の考え方・根拠 費用の一部を助成し負担軽減を図り検査や治療を受診し易くすることが目的のため、申請件数を前年度実績に基づき目標を設定した。	S	本事業の開始をきっかけに不妊の検査を受けた方もおり、不妊を心配されている方が検査を受ける後押しになっている。また、高額な不妊治療費用の負担軽減を図った。	R3年度に改善した点 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、郵送でも申請出来ることを市ホームページで周知した。	3. すべての人に健康と福祉を 8. 働きがいも経済成長も 10. 人や国の不平等をなくそう																												
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加										根拠法令 埼玉県早期不妊検査費・不育症検査費助成事業実施要綱、埼玉県早期不妊治療費助成事業実施要綱等	事業の目的及び具体的な内容 不妊に悩む方の早期の不妊検査及び治療に要する費用の一部を助成することにより、負担の軽減を図り、検査や治療を受けやすくするものである。不妊検査費等については、検査に係る費用に対して2万円を上限とし1回助成する。早期不妊治療助成は、埼玉県不妊治療費助成事業の初回助成の対象となった特定不妊治療に係る費用に対して、県の支給決定額を除いた金額の10万円を上限とし1回助成する。	実績 ① 192件 ② 67件	目標達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 埼玉県の子供化対策である「ウェルカムベイビープロジェクト」事業の一環として実施しており、県と連携をしながら事業を進めていく。	どのように貢献したか 子どもを望む夫婦に対し、その検査・治療の負担軽減を図り、前向きに生活できるよう支援した。																						
		期間	H29~																																					
		312	健康づくり支援課										実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額 R2決算額 12,620千円 11,157千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 60,864千円 52,471千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.04人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 327千円 0人 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 1.70人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 13,566千円 0人	項目名 ①契約医療機関における助成券使用件数 ②①以外(償還払い)対象件数 実績 ①1,760件 ② 150件	指標名 聴覚検査助成券使用件数(①、②の合計) R2目標 R2実績 1,920件 1,787件 R3目標 R3実績 1,920件 1,910件 R4目標 R4実績 1,920件	目標設定の考え方・根拠 費用の一部を助成し経済的負担軽減を図り、受診児の拡大し早期発見に努めることが目的のため、利用件数を前年度実績に基づき目標を設定した。	A	目標値に達しなかったが、検査費用の負担軽減を図ることで多くの新生児が検査を受け、早期発見により適切な医療につなげられるよう努めている。	R3年度に改善した点 令和3年度より県の一括契約の対象となったため、委託医療機関が大幅に増加し、市民の利便性が向上した。	3. すべての人に健康と福祉を 10. 人や国の不平等をなくそう																		
													最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加									根拠法令 「新生児聴覚検査の実施について」(平成19年1月29日雇児発第01290021号厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知)	事業の目的及び具体的な内容 新生児聴覚検査は、生後まもない新生児に「耳のきこえ」の検査を行うものである。本事業は、生まれつき聴覚に障がいがあることを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な医療につなげることで、こぼれの発達を促すことを目的とし、新生児聴覚検査を受けた新生児等の保護者に対して検査費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減とともに受診児の拡大を図る。	出生数が低下したこと及び、新生児聴覚検査助成金(償還払い)の申請期限が産後1年以内のため、年度をまたいで申請する世帯もあることから、未達成となった。	対象者が漏れなく受診できるように今後も面接や訪問時に勧奨すると共にホームページ等広報の充実を図り周知する。	全出生児に検査費用の一部を助成し、対象世帯の経済的負担の軽減と受診児の拡大及び早期発見に貢献した。													
													期間	R2~																										
													312	健康づくり支援課									実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額 R2決算額 12,620千円 11,157千円 R3予算現額 R3決算額(見込み) 60,864千円 52,471千円 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 0.04人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 327千円 0人 R2正規職員人件費 R2その他職員従事割合 1.70人 0人 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 13,566千円 0人	項目名 ①対象者数 ②受診者数(市外で受診した者を除く) 実績 ①2,213人 ②2,067人	指標名 個別健診受診率 R2目標 R2実績 93.0% 93.0% R3目標 R3実績 96.0% 93.4% R4目標 R4実績 94.0%	目標設定の考え方・根拠 出生したすべての児が対象期間内に受診できることを目指し、②受診者数/①対象者数=個別健診受診率とした。	A	R2年度より集団健診から個別健診へ変更となっているが、R2年度に実施した「満足度アンケート調査」の結果では8割が満足と回答しており、R3年度の受診率は93.4%と微増していることから、かかりつけ医での受診が定着してきたと考えられる。集団健診のように決められた日時に来所することなく、身近な市内医療機関で、曜日や時間を自由に選択できる個別健診はニーズが高いことが伺えた。	R3年度に改善した点 身近なかかりつけ医で丁寧な診察・相談ができ、安心して受診できる環境が定着するよう、市内協力医療機関との情報共有を図った。コロナ禍でR2年度より集団健診から個別健診に移行しているため、引き続き「満足度アンケート調査」を行い、保護者のニーズの把握を行う。	3. すべての人に健康と福祉を								
																							最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加									根拠法令 母子保健法第13条	事業の目的及び具体的な内容 4か月児は先天異常、中枢神経系の異常、整形外科的障害が明らかになる時期であり、環境の変化及び刺激に対する反応が十分でなく保育者の戸惑いも大きい。この時期に疾病、異常(発達の遅れ、障害を含む)を早期に発見し、適切な指導を行う。また、育児、栄養についての援助・助言を行うことにより、児の健康の保持増進及び育児支援を図る。	高い目標設定をしていたが、低出生体重児増による出生医療機関での健診受診や、新型コロナウイルス感染症を避けるための里帰り先での健診受診が増えたことにより、本市委託医療機関での受診が減少し、目標値に達しなかった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 新生児訪問、こどもには赤ちゃん訪問等で周知を図る。また、市内協力医療機関と情報共有を図り、さらなる連携を強化していく。また、かかりつけ医と保健センターが協力して必要な児を見守る。	どのように貢献したか 適切な月齢で身近なかかりつけ医で気軽に受診ができるよう医師会の協力を得て市内協力医療機関数を確保した。			
																							期間	R2.6~																



計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																																					
				会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)																																				
323	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	A	予算計上した1000人分に申込数が迫ったため、申込受付を終了したが、受診実績は半年間で464人とどまった。他方で、埼玉県が実施する肝炎ウイルス検査の令和3年度通年の市内受診者数は139人であり、市の事業として実施することで受診機会・受診者数を増やすことはできた。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																																			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														0千円	0千円	①申込者数	肝炎ウイルス検査受診者数	R3目標値が未達成の理由・分析	令和3年10月に開始した肝炎ウイルス検査事業は、申込者数が955人に対し受診者数は464人であった。乖離の原因として、問診で過去に受診履歴があると分かり、受診に至らなかった申込者が相当数いたことが考えられる。「未受診者のみが対象」であるとの案内・注意喚起の仕方が課題である。	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を																											
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														R3予算現額	R3決算額(見込み)	②実施医療機関数						R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を																								
		健康増進法	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														10,029千円	6,457千円	③要精検者中の精検受診者数(フォローアップ対象)									R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を																					
		事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績												R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を																		
		肝炎ウイルス検査事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														0.00人	0人	①955人															R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を															
		期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														0千円	0人	②40医療機関																		R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を												
		R3~	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														0.28人	0人	③4人中4人																					R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を									
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加														2,234千円	0人																									R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を						
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																																											R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を			
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加				R3目標値が未達成の理由・分析	事業初年度であるため、なし。	3. すべての人に健康と福祉を																																												
324	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額				R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	S	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																																
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	7,279千円	6,477千円	①精神保健福祉士による相談件数	R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																									
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②こころの健康講座及びこころの美術展の参加人数					R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																					
		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	6,142千円	5,223千円	③精神障害者等一時宿泊事業の延利用者数及び利用日数									R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点																3. すべての人に健康と福祉を		
		事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績												R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点														3. すべての人に健康と福祉を	
		精神保健相談については、来所、訪問、電話及びメール等により行い、必要に応じて専門医による相談を実施する。精神障害の早期発見、早期治療と治療の継続等、社会復帰に向けた総合的な支援を行う。また精神保健福祉に関する知識の普及啓発を実施する。	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	5.23人	0人	①延べ相談件数10,437件 電話8,028件、メール156件、来所相談1,067件、訪問支援1,186件															R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点												3. すべての人に健康と福祉を
		期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	42,719千円	0人	②延人数3,343人																		R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点									
		H14~	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	6.45人	0人	③こころの健康講座59人参加 こころの美術展3,284人参加																					R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点						
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	51,471千円	0人	④延利用者数18人 利用日数69日																								R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点			
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点																													
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加				R3目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市民の精神保健に対するニーズが高く、昨年より相談件数が1,445件増加した。(電話相談946件、メール11件、来所相談218件、訪問支援270件増加)	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																																											
324	健康管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額					R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	S	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点				3. すべての人に健康と福祉を																												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					1,007千円	977千円	①自殺遺族支援「わかちあいの会」の運営	R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																					
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					R3予算現額	R3決算額(見込み)	②思春期こころの健康相談事業					R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点																3. すべての人に健康と福祉を		
		自殺対策基本法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					1,074千円	1,063千円									R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点														3. すべての人に健康と福祉を	
		事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績											R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点												3. すべての人に健康と福祉を
		自殺対策基本法の基本理念には、自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景には様々な社会的な要因があることを踏まえ、その対策が社会的な取組として実施されなければならないとされている。本市においてもその趣旨を踏まえ相談や普及啓発等の自殺防止対策を実施する。	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					0.66人	0人	①6回実施 77人参加														R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点									
		期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					5,391千円	0人	②12回実施 37人																	R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点						
		H21~	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																					0.62人	0人																					R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点			
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加																	4,948千円	0人			R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点																									
			■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加					R3目標値が未達成の理由・分析												思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																													
	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加				R3目標値が未達成の理由・分析	思春期精神保健に関する需要が増加しており、思春期こころの健康相談の利用希望者が多かった。思春期の心性に配慮し、学校との連携や保護者へ対する細やかな相談支援を行っている。	R3年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を																																										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)									
				会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)							
331	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	R2年度に引き続き、担当医不在となっていた時間帯等が整備され、小児科救急医療体制が改善された。小児の救急医療体制を推進する上で本事業は必要不可欠であり、引き続き埼玉県をはじめ、狭山市、入間市と連携し事業の継続及び体制の整備を図っていく。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												2,820千円	2,511千円	①診療目標日数(平日夜間、日曜日・夜間、祝日昼・夜間)	小児科救急医療病院群輪番制実施率 診療実施日数 ÷ 診療目標日数	本事業は、平日夜間、祝休日の昼間・夜間、すべての日の小児の第2次救急医療体制の確保を目的としていることから診療実施率を指標としている。	これまで担当医不在となっていた時間帯等が以下のとおり整備された。 【曜日(時間帯)】 第2・第4日曜日(夜間) 第5日曜日(昼間・夜間) 【開始日】 令和3年6月13日～		
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												2,998千円	2,911千円	②診療実施日数	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	現状で担当医不在となっている第1・第3日曜日(夜間)について、医療機関の協力が得られるよう、埼玉県を中心に狭山市、入間市と連携し、小児科救急医療体制の整備を図っていく。
		事業の目的及び具体的な内容	所沢地区小児科救急医療病院群輪番制病院運営費補助に関する協定書 埼玉県小児科救急医療施設運営費補助金交付要綱												0.27人	0人	①437日	100.0%	81.5%		どのよう貢献したか	
		夜間(月から土曜日)及び休日・祝日の小児の第2次救急医療を確保するため、所沢市、狭山市、入間市において、3市及び協力医療機関(4病院)による協定書に基づき、輪番制で第2次救急医療体制の整備を図るものである。	R2正規職員人件費												2,205千円	R3その他職員従事割合	②407日	100.0%	93.1%		所沢地区における、小児の休日及び夜間の診療の確保	
		期間	H12～												0.38人	0人						
															3,032千円	0人						
331	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始における初期救急患者に対する医療体制の確保が目的であることから、診療実施率を指標とした。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												16,035千円	16,035千円	①診療計画日数	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	本事業は、一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始における初期救急患者に対する医療体制の確保が目的であることから、診療実施率を指標とした。	安定的な事業の実施及び、新型コロナウイルスに関する発熱外来やPCR検査等についても、市民の問い合わせに対応できるよう、所沢市医師会と調整し、在宅当番医から協力を得た。		
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												16,035千円	16,035千円	②診療実績日数	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		事業の目的及び具体的な内容	埼玉県地域保健医療計画												0.27人	0人	①72日	100.0%	100.0%		どのよう貢献したか	
		一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。	R2正規職員人件費												2,205千円	R3その他職員従事割合	②72日	100.0%	100.0%		祝祭休日及び年末年始の初期救急医療の確保	
		期間	S59～												0.43人	0.05人						
															3,431千円	0.05人						
331	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	本事業では、夜間、休日・祝日、年末年始の第2次救急医療体制を確保することが目的であるため、診療実施率を指標とした。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												31,045千円	31,045千円	①診療計画日数 夜間(365日)+祝日・休日昼間(72日)	診療実施率 診療実施日数 ÷ 診療計画日数	本事業では、夜間、休日・祝日、年末年始の第2次救急医療体制を確保することが目的であるため、診療実施率を指標とした。	本事業が円滑に推進できるよう、所沢市、狭山市、入間市で連携を図るとともに情報共有に引き続き努めた。		
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												31,045千円	31,045千円	②診療実績日数	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		事業の目的及び具体的な内容	所沢地区病院群輪番制病院運営費補助に係る協定書 所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱												0.27人	0人	①437日	100.0%	100.0%		どのよう貢献したか	
		夜間及び休日・祝日、年末年始の第2次救急患者の医療体制を確保するため、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における第2次救急医療機関(13病院)が病院群輪番制方式により診療を実施するものである。	R2正規職員人件費												2,205千円	R3その他職員従事割合	②437日	100.0%	100.0%		所沢地区における、休日及び夜間の第2次救急医療の確保	
		期間	S55～												0.48人	0人						
															3,830千円	0人						
332	保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	障害児者の歯科診療が市の役割として期待されており、これを充実させるため、受診できる最大受診者数を指標とする。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												59,638千円	58,222千円	①在宅要介護高齢者歯科診療 診療日数	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績(単位:人)	障害児者の歯科診療が市の役割として期待されており、これを充実させるため、受診できる最大受診者数を指標とする。	感染症対策のため、診療機器の滅菌器を購入した。市内の介護サービス事業者に対し、在宅要介護高齢者歯科診療を案内するとともに、対象者への周知を依頼した。より診療対象者に近い方々にお願いすることにより、診療を必要とする方に情報が行きわたるよう努めた。		
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加												58,840千円	58,795千円	②障害児者歯科診療 診療日数	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		事業の目的及び具体的な内容	医療法、所沢市歯科診療所条例												0.45人	0人	①52日	850	580		どのよう貢献したか	
		一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制の確保を目的として、保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。	R2正規職員人件費												3,676千円	R3その他職員従事割合	②101日	850	689		所沢地区における、休日及び夜間の第2次救急医療の確保	
		期間	H10～												0.35人	0人	③70日	850				
															2,793千円	0人						



計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計		投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
333	市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	評価理由	現状の課題	3. すべての人に健康と福祉を								
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											504,266千円	466,559千円	①内科外来診療患者数(二次救急含む)	1日の内科外来診療患者数(二次救急含む)(内科外来患者数/診療日数)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則											R3予算現額	R3決算額(見込み)					
		事業の目的及び具体的な内容	地域住民の医療ニーズを的確に把握し、地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。											6.26人	22.40人	実績	91人	58人	内科外来診療においては、発熱外来患者の増加を受けて、過去4年と比較して、最も患者数が多くなったが、二次救急患者が令和元年度の患者数に及ばず、目標達成ができなかった。	
		期間	S51～											R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①18,654人	R3目標	R3実績		
														51,132千円	23.60人	②246日	80人	75人		
														R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③18,654人	R4目標			
		9.90人			91人															
		79,002千円																		
333	市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	評価理由	現状の課題	3. すべての人に健康と福祉を								
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											716,754千円	609,136千円	①地域包括ケア病床在院患者延数 ②入院患者実人数 ③病床利用率 ※延べ年間入院患者数/延べ年間病床数×100	地域包括ケア病床の利用率(地域包括ケア病床在院患者延数×100/病床数×365)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則											R3予算現額	R3決算額(見込み)					
		事業の目的及び具体的な内容	一般入院、かかりつけ医からの紹介、民間病院で受け入れ困難な患者などについて、入院受け入れを行い市民が安心して暮らすことができる医療環境を整備する。また、医療機関や行政機関との連携を図り、地域での医療連携(地域完結型医療)体制を推進するものである。											29.14人	30.00人	実績	81.0%	61.2%	新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たした患者の受け入れのため一部の病床利用を制限していたことや、地域包括ケア病床での療養が適する病状が安定した患者が少ない時期があったことから、目標値を達成できなかった。	
		期間	S51～											R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①2,653人	R3目標	R3実績		
														238,016千円	32.40人	②601人	78.0%	66.1%		
														R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③53.8%	R4目標			
		29.00人		④58人	85.0%															
		231,420千円																		
333	市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	評価理由	現状の課題	3. すべての人に健康と福祉を								
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											654,224千円	465,607千円	①人間ドック等受診者数 ②精密検査指示者数 ③市民医療センターでの精密検査受診者数	市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則											R3予算現額	R3決算額(見込み)					
		事業の目的及び具体的な内容	市民の健康維持・増進のため、人間ドック、特定健診などの検診を実施する。また、疾病の早期発見、早期治療に繋げていくため、精密検査や治療が必要な受診者に対し、受診勧奨を行い、確実な医療機関への受診を促進するものである。											18.43人	47.90人	実績	35.0%	28.7%	目標達成済	
		期間	S51～											R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①9,297人	R3目標	R3実績		
														150,536千円	46.90人	②1,433人	30.0%	33.8%		
														R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③485人	R4目標			
		17.30人			30.0%															
		138,054千円																		
333	市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	評価理由	現状の課題	3. すべての人に健康と福祉を								
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											210,973千円	165,597千円	①小児夜間急患診療年間患者数 ②小児深夜帯急患診療年間患者数 ③小児科日曜日・休日急患診療年間患者数	小児初期救急医療体制の維持	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則											R3予算現額	R3決算額(見込み)					
		事業の目的及び具体的な内容	安心して子育てができる医療環境を整備するため、医療機関の多くが診療を実施していない夜間、深夜、日曜日及び祝日において小児の内科的急性疾患の初期診療を実施し、関係医療機関と連携しながら所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていく。											3.29人	33.60人	実績	維持	維持	新型コロナウイルス感染拡大期においても、所沢市医師会をはじめ、関係機関と連携をし、小児初期救急医療体制を維持することができた。	
		期間	H11～											R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①1,966人	R3目標	R3実績		
														26,873千円	38.60人	②833人	維持	維持		
														R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③1,924人	R4目標			
		4.60人			維持															
		36,708千円			維持															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
				投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
333	市民医療センター	実施計画ランク	事業の種類別	所沢市病院事業の設置等に関する条例 所沢市市民医療センター管理規則 事業の目的及び具体的な内容 安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 ①小児科外来診療 ②小児神経発達外来等、専門外来の実施	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかないなか、発熱患児への診療も含め、外来を実施することで、安心して子育てができる医療環境に資することができた。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		最優先	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加		159,095千円	124,625千円	①小児科外来診療患者数	1日の小児科外来診療患者数(小児科外来患者数/診療日数)	公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、小児科外来の診療患者数を指標とする。	R3目標値が未達成の理由・分析			新型コロナウイルス感染症の影響により診療患者数が大幅に減少した令和2年度に比べ、令和3年度は増加傾向が見られた。一方で、依然新型コロナウイルス感染拡大の波が収まらず、診療患者数は令和元年度の水準には戻っていない状況である。			新型コロナウイルスが若年層にも感染拡大した際には、発熱患児を積極的に受け入れ、的確な診療・診断に努めた。また、新型コロナウイルスワクチン接種も実施し、公衆衛生の観点から感染防止に努めた。
		根拠法令	R3予算現額		R3決算額(見込み)	②診療日数	R2目標									
		<input type="checkbox"/> 根拠法令 <input type="checkbox"/> 所沢市病院事業の設置等に関する条例 <input type="checkbox"/> 所沢市市民医療センター管理規則	165,945千円		145,990千円	③小児神経発達外来、夜尿症外来、フォローアップ外来の患者数	—	33人		どのよう貢献したか						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績		地域における医療提供体制の充実を図り、安心して子育てができる医療環境の整備に努めた。						
		<input type="checkbox"/> 安心して子育てができる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。 <input type="checkbox"/> ①小児科外来診療 <input type="checkbox"/> ②小児神経発達外来等、専門外来の実施	4.60人		会年職員等 5.60人	①12,598人	—	52人								
		期間	R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	②242日	R4目標									
		S51~	4.70人		会年職員等 6.00人	③463人	66人									
			37,573千円													
			37,506千円													



計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
341	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和3年度もレセプト点検業務を委託し、歳出金額が大幅に削減された。引き続き効果が上がるよう取り組んでいく。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,212千円	2,832千円	①レセプト点検率	再審査申出に伴う効果額に対する決算額の割合	再審査申出に伴う効果額は、レセプト件数や医療機関での算定内容によって増減が大きいため、費用対効果を指標とする。							
		根拠法令	国民健康保険法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②再審査申出件数									
		レセプト点検業務委託事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③再審査申出効果額	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		1 埼玉県国民健康保険団体連合会で審査されたレセプトを受領し、電算処理する。 2 レセプト点検システムにより内容点検を行う。 3 内容について疑義がある場合は、埼玉県国民健康保険団体連合会へ再審査の依頼をする。	0.10人	0人	実績	100.0%	239.7%	再審査申出件数が減少したことが要因と考えられる。その反面、再審査申出件数が減少することは、医療機関のレセプト請求の精度が向上しているとも考えられるので、引き続き状況を注視していく。							
		期間	R2~	817千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①100%		R3目標						R3実績
		0.28人	0人	②7,662件	R4目標	150.0%	147.6%								
2,234千円	0人	③4,330,265円	R4実績	150.0%											
評価者	国民健康保険課長 新井 浩殿	特になし。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	レセプト内容の点検をすることで医療費の適正化を行い、歳出を抑制した。										
342	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	3年度の目標は未達成だったものの新型コロナの影響は徐々に改善しつつあり、令和3年度の最終的な実施率は2年度実績まで回復するものと見込んでいる。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	7,568千円	2,431千円	①特定保健指導(動機付け支援)の実施率	実施率(全体)	特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数							
		根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②									
		特定保健指導業務委託事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		平成20年4月から、各医療保険者には生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図ることを目的とした特定健康診査と特定保健指導の実施が義務付けられた。実施率向上を目指し、特定保健指導の一部(動機付け支援)については、直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値60%が達成できる体制の再構築を目指すものである。	1.00人	1	実績	30.0%	25.4%	特定保健指導の一部(動機付け支援)を直営体制から業務委託に切り替えることにより、目標達成を目指したが、R2に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響も受け、実施率の低迷が続いている。							
		期間	R1~	8,168千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①25.3%(令和4年6月27日現在)		R3目標						R3実績
		1.74人	1	②	40.0%	23.5%(令和4年6月27日現在)									
13,885千円	1	③	50.0%												
評価者	国民健康保険課長 新井 浩殿	保健指導実施後は、市において実績評価を行うため、医療機関で使用される実施記録表に改良を加えた。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	保健指導を通じて、被保険者の健康増進を図れるよう委託を行った。										
343	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	協力医療機関においては、年々本事業についての周知が進んでいると思われるが、対象者については早期受診の重要性が十分に認識されていないと考えられるため、一層の啓発が求められる。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	29,851千円	25,569千円	①受診勧奨対象者の受診率	受診勧奨対象者の受診率	医療費が高額になる人工透析への移行を防ぐため、医療機関を受診していない人、もしくは受診を中断した人の勧奨後の受診率を指標とする。							
		根拠法令	国民健康保険法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②保健指導対象者の修了率									
		糖尿病性腎症重症化予防対策事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③継続支援対象者の参加率	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		県の指定を受けたモデル事業であり、国保連合会との共同事業として実施。各保険者が事業費用を分担金として負担。具体的には、レセプトと健診データを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつける受診勧奨と、糖尿病性腎症で通院する被保険者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防ぐ。	0.85人	0人	実績	17.0%	16.6%	未受診理由としては、自覚症状がないことから必要性の認識欠如や忙しさが想定される。早期の取組の重要性を周知していくことが必要と考えられる。							
		期間	H26~	6,943千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①16.9%		R3目標						R3実績
		0.89人	0人	②94.7%	R4目標	18.0%	16.9%								
7,102千円	0人	③29.3%	R4実績	19.0%											
評価者	国民健康保険課長 新井 浩殿	かかりつけ医からの書類の回収について、可能な限り、医療機関を回り直接受領するようにした。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	被保険者の病状の安定を図るため、県のプログラムに参加し、事業を実施した。										
344	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ジェネリック医薬品に係る調剤薬局における困難な状況を見ると、積極的な啓発活動は難しい面もある。改善には、まだ期間を要すると推測するが、状況把握に努め、関係機関とも連携をとりながら、推進していく必要があると考える。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,351千円	803千円	①ジェネリック医薬品数量シェア	ジェネリック医薬品数量シェア	数量シェア=ジェネリック医薬品の数量/(ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量)×100							
		根拠法令	-	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②									
		ジェネリック医薬品利用促進事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		ジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで80%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめるとともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。	0.34人	0人	実績	80.0%	79.0%	ジェネリック医薬品数量シェアについては、R2までは順調に上昇していたが、目標値の目前で下降に転じた。薬局や被保険者からの声によると、メーカー不祥事に端を発する在庫不足の問題も少なからず影響していると思われる。							
		期間	H25~	2,777千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①78.6%		R3目標						R3実績
		0.33人	0人	②	80.0%	78.6%									
2,633千円	0人	③	80.0%												
評価者	国民健康保険課長 新井 浩殿	ジェネリック医薬品の普及啓発を進めるため、啓発シール、啓発ポスターについて新しく作成した。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか	被保険者に対する周知・啓発のみでは目標達成は難しいと思われる。処方元の医療機関における協力が得られるよう連携を密にする。										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
345	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	受診率は目標を達成できなかったものの、受診者数は増加しており、広報活動の成果は得られている。今後も広域連合及び国民健康保険の特定健康診査等実施事業と連携して、事業の周知を図っていく。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を					
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加					161,095千円	161,095千円						①受診者数	受診率	埼玉県後期高齢者医療広域連合第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)(2018~2023年)の受診率を目標とする。	
		根拠法令	埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例					R3予算現額	R3決算額(見込み)									②対象者数
		健康診査実施事業	事業の目的及び具体的な内容					163,520千円	154,211千円						③	38.0%	34.6%	受診する被保険者と受診しない被保険者が固定化しているため、受診率に大きな変化がなく、目標値が未達成になったと考えられる。
		期間	H20~					R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合						実績	R3目標	R3実績	
								1.53人	0人						①16,100人(見込)	39.0%	35.9%(見込)	
								12,497千円	0人						②44,806人	R4目標	40.0%	
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③														
		0.36人	0人															
		2,873千円	0人															
345	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	前年度よりも多くの受診者があり、広報活動の成果は得られた。ただし、一定の受診者数は保っているものの、目標には及ばなかった。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を					
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加					14,212千円	8,406千円						①受診者数	受診者数	日帰りコース及び生活習慣病コースの受診見込者数	
		根拠法令	所沢市後期高齢者医療被保険者総合健康診断検診料補助金交付要綱					R3予算現額	R3決算額(見込み)									②
		総合健康診断(人間ドック)補助事業	事業の目的及び具体的な内容					17,175千円	13,007千円						③	999人	518人	詳細な健康診査となるため自己負担額が高額であること、助成対象となる医療機関が市民医療センターに限られることが原因と考えられる。
		期間	H20~					R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合						実績	R3目標	R3実績	
								0.55人	0人						①799人	1,055人	799人	
								4,492千円	0人						②	R4目標	970人	
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③														
		0.28人	0人															
		2,234千円	0人															
345	国民健康保険課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	3年度から新規事業として取り組みを開始し、ハイリスクアプローチの対象となった106人に対し延べ139回の訪問を実施し、健康状態の確認や他機関へつなげることができた。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を					
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加					0千円	0千円						①ハイリスクアプローチ対象者数	今年度ハイリスクアプローチ非該当になった者/前年度ハイリスクアプローチ対象者	ハイリスクアプローチの対象者の減少が後期高齢者全体の健康課題の改善を現わすことから、前年度対象者のうち、今年度非該当になった者の割合を指標とする。	
		根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法					R3予算現額	R3決算額(見込み)									②
		保健事業と介護予防の一体的実施事業	事業の目的及び具体的な内容					6,232千円	5,321千円						③	0.00人	0人	初年度は訪問を通じて状況を把握する。
		期間	R3~					R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合						実績	R3目標	R3実績	
								0千円	0人						①114人	R4目標	対象者数114人	
								0千円	0人						②	5.0%		
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③														
		1.44人	2															
		11,491千円	2															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
351	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	スポーツを楽しむ機会の提供のため、スポーツ振興課の主催事業教室の他に、各地区体育館の教室の確保、育成、またその質の向上を引き続き図って行きたい。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	251千円	193千円	①参加者募集人数	教室参加者数	地域社会への参加や自らの意思によって学習意欲や探求心を維持し、良き趣味を持ち、生きがいのある日々を過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、引き続き参加者の増員を目標とした。						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②教室参加者数									
		スポーツ基本法	252千円	129千円	③教室開催数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	750人	341人							
		主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表一覧「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティセンター等に配付する。随時日程に合わせて生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しみきっかけをつくる。	0.33人	0人	①880人	R3目標	R3実績							
		2,695千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②732人	750人	709人							
0.48人	0人	③73回	R4目標											
期間	S52～	3,830千円		750人										
351	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	所沢シティマラソン大会が中止となったため評価理由は特になし。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①総申込者数(非計測者を除く申込者数)	当日出走率(計測者)(出走者数÷申込者数×100)	申込者が大会当日に何人参加したかをパーセンテージで算出。大会の魅力を増し、出走割合を高めていく。						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②出走者数(a. 計測者 b. 非計測者)									
		スポーツ基本法	2,542千円	2,542千円	③会議開催回数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	88.0%	0.0%							
		所沢市のメインイベントとして市のPRとともに、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し誰でも参加できることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。	0.49人	0人	①0人	R3目標	R3実績							
		選手を公募し、当課が事務局となり、各種スポーツ団体から選出された役員他で構成された実行委員会を組織し、ハーフの部を含む5部門を実施。	4,002千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②0人	88.0%	0.0%						
1.63人	0人	③5回	R4目標											
期間	H2～	13,007千円		88.0%										
351	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	急激に進む超高齢社会をむかえ、いつまでも元気で、豊かな生活を送ることが求められている。こうした状況の中で、本健康体操を作り、地域への推進を図ってきた。各地区で親しまれ、健康体操としての効果は上がってきていると思われるが、周知されていない市民に今後も伝わるよう引き続き活動していく。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	30千円	30千円	①推進事業開催回数	所沢健康体操の普及度	急激に進む超高齢社会にあって、高齢化に伴った生活習慣病が増加しているなか、元気で暮らせる「健康寿命」を少しでも延ばして行くために所沢健康体操の普及度を引き続き目標とした。						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②事業参加者数									
		スポーツ基本法	30千円	0千円	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	100,000人	7621人							
		主に高齢者を対象に、誰もができる市独自の健康体操を作り、地域の自治会・町内会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、健康で元気な地域社会を実現する。	0.75人	0人	①545回	R3目標	R3実績							
		①体操普及への協力者(協力団体)に趣旨説明を行う。②市独自の健康体操「とこしゃん体操」を公民館などで行い、協力を依頼する。③地区連合会・学校開放等で体験事業を行う。	6,126千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②15,931人	100,000人	15,931人						
0.41人	0人	③	R4目標											
期間	H19～	3,272千円		100,000人										
352	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	スポーツ庁から業務委託を受け、トップアスリートが国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の利用環境を整備を行うため、練習場の確保及び拠点スタッフの配置を行った。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,371千円	1,293千円	①練習希望日数	練習会場の確保率(練習会場確保日数÷練習希望日数×100)	日本ゴールボール協会が希望する練習日程が実施できるように、市民体育館の施設を確保するもの。						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②練習会場確保日数									
		スポーツ基本法	2,122千円	1,572千円	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%							
		所沢市民体育館がスポーツ庁から東京パラリンピック競技種目であるゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設として指定されたことに伴い、本市がスポーツ庁から業務委託を受け、トップアスリートが国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の利用環境を整備を行うものである。	0.52人	0人	①90日	R3目標	R3実績							
		4,247千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②90日	100.0%	100.0%							
0.42人	0人	③	R4目標											
期間	H29～	3,352千円		100.0%										



計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
				会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)									
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	今後においても、より一層市民の余暇の拡大、健康増進に努めていきたい。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												204,496千円	202,397千円	①施設利用枠数	施設稼働率(利用枠数÷利用可能枠数×100)	R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②施設利用人数							
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則	0千円												0千円	③施設使用料収入								
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費												R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績					R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。	4.97人												0人	75.0%	62.8%							
・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。	40,595千円	0人	75.0%	80.8%	目標達成済	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																	
・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。	5.28人	0人	R4目標																					
期間	S51~	42,134千円		80.0%					評価者	スポーツ振興課長 廣谷 貴紀														
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	残り1校については、学校と近隣状況の関係について注視していくものとする。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												4,110千円	4,110千円	①利用者数	学校開放運営委員会による組織開放率(組織開放校÷市内小・中学校数47校)×100	R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②							
		スポーツ基本法、社会教育法	4,110千円												4,110千円	③								
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費												R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績					R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		各地区学校開放運営委員会が委託契約に基づき、学校体育施設を市民に開放するため、利用者の調整や手続きなどの管理運営を行っている。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう開放時における施設設備の保全、利用者に対する使用の指導助言や施設、設備の使用許可なども行っている。	0.30人												0人	100%(47校)	98%(46校)							
期間	S48~	2,450千円		100%(47校)	98%(46校)	評価者	スポーツ振興課長 廣谷 貴紀																	
		0.50人		100%(47校)																				
		3,990千円		100%(47校)																				
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、例年では、1日あたりの利用者数という指標が、天候などの条件に左右される性質のものであることから、一概には判断できないものと考えられる。より一層市民の余暇の拡大につながるよう、施設の運営に努めていきたい。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												830千円	0千円	①年間利用者数	1日あたりの利用者数(年間利用者数÷開催日数)	R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②年間使用料収入							
		スポーツ基本法、所沢市都市公園条例・同規則	0千円												0千円	③								
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費												R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績					R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		北野公園に市民プールを設置し、開設期間である7月中旬から8月31日まで運営。夏季におけるスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与する。	0.06人												0人	1,000人	0人							
・開設中の運営は、民間業者に委託	490千円	0人	1,000人	0人	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を中止とした。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																	
・清掃・受付業務・事業用備品の購入、点検等	0.22人	0人	1,000人	0人																				
期間	S47~	1,756千円		1,000人					評価者	スポーツ振興課長 廣谷 貴紀														
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のためにも、引き続き施設の修繕、改修に努めていきたい。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												11,500千円	11,572千円	①体育施設整備費執行額(修繕)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)	R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②体育施設整備費予算額(工事)							
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	11,339千円												11,327千円	③体育施設整備費執行額(工事)								
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費												R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績					R3目標値が未達成の理由・分析	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。	1.40人												0人	100.0%	100.6%							
①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。	11,435千円	0人	100.0%	99.9%	目標達成済	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																	
期間	S47~	0.72人		100.0%					評価者	スポーツ振興課長 廣谷 貴紀														
		5,746千円		100.0%																				

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)									
				会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)								
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市全体のスポーツ大会をはじめ、各支部で運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①大会参加者数	大会参加者数維持率 (参加者数÷前年度参加者数×100)	体力つくり事業として実施している各種スポーツ大会の参加者数を増やしていく。	新たな事業として、航空公園運動場を会場に、人工芝の上でモルックやベタンクなどのユニバーサルスポーツを含む5種目を親子で体験する「親子スポーツフェア」を開催した。		
			根拠法令												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	「トコロんウォーク」も航空公園からさくらタウンへ至る新たなコースで開催した。
			スポーツ基本法、体力つくり市民会議交付金交付要綱												0.34人	0人	③					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容												2,777千円		実績	100.0%	0.0%			どのよう貢献したか
			「体力つくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。												R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①658人		100.0%	658.0%	目標達成済	幅広く市民がスポーツに親しむことができるように、スポーツに関心のない市民も参加しやすくなる種目に改め、内容を充実させる必要がある。
		期間	S47~												0.22人	0人	②					スポーツ振興課長 廣谷 貴紀
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	登録団体数は61団体で昨年度と同数であるが、登録数が減少したため。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①登録数	登録数の維持率 (今年度登録数÷前年度登録数×100)	少子化傾向にあるものの、スポーツ少年団の周知や魅力を高め、登録数を維持していくもの。	スポーツ少年団の登録システムが変更となったため、各少年団を集めて説明会を実施し、スムーズな登録手続きが行えるようサポートした。		
			根拠法令												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②登録団体		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱												0.54人	0人	③					どのよう貢献したか
			事業の目的及び具体的な内容												4,411千円		実績	100.0%	79.6%			今後インターネットやSNSなど活用して、スポーツ少年団の周知を行い、登録回数及び登録者数を確保していく。
			スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。												R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①1,537		100.0%	78.9%	新型コロナウイルスの関係で登録数が減少したと思われる。また近年の児童数の減少によるものと考えられる。	青少年ががスポーツをする場の確保に寄与した。
		期間	S48~												0.44人	0人	②61団体					スポーツ振興課長 廣谷 貴紀
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	スポーツ協会が中心となり、所沢シティマラソン大会や所沢市陸上競技選手権大会の運営を行っている。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会数も増加傾向にある。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①加盟団体数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数(市民大会実施団体数÷加盟団体数×100)	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市スポーツ協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。	加盟団体が一堂に会する会議の中で、市民向けの事業を各団体で開催するよう依頼した。		
			根拠法令												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②市民対象事業実施団体数		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			スポーツ基本法、体育協会補助金交付要綱												0.39人	0人	③					どのよう貢献したか
			事業の目的及び具体的な内容												3,186千円		実績	100.0%	18.4%			天候に左右される団体は予備日を設けるなど必ず実施できるように会場の確保などで支援していく。
			所沢市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚をはかり、もって市民生活の向上発展を目的に設立された当協会に交付金を交付することにより、この協会設立目的達成を支援する。												R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①37団体		100.0%	33.3%	新型コロナウイルスの関係で大会中止を余儀なくされた団体が多数あったため。	市民がスポーツに参加する場の確保に寄与した。
		期間	S29~												0.34人	0人	②8団体					スポーツ振興課長 廣谷 貴紀
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	市民に対しレクリエーション活動を普及するため、毎年2月にレクリエーションまつりを開催している。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会数を増やす取り組みを行っている。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を										
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①会員数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数(市民対象事業実施団体数÷加盟団体数×100)	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数(市民対象事業実施団体数÷加盟団体数×100)	加盟団体が一堂に会する会議の中で、市民向けの事業を各団体で開催するよう依頼した。		
			根拠法令												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②加盟団体数		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			スポーツ基本法、所沢市レクリエーション協会補助金交付要綱												0.34人	0人	③市民対象事業実施団体数					どのよう貢献したか
			事業の目的及び具体的な内容												2,777千円		実績	100.0%	7.1%			新種目団体の加盟を促進し、会員数の増加に努め、レクリエーション活動の推進を図り、市民(特に高齢者)の健康増進を図る。
			レクリエーションを原動力として、市民と共に地域の活性化を図る活動を繰り返すため設置され、当該団体の活動を支援するために補助を開始した。近年少子高齢社会が進んでいる中、レクリエーションを通じて、市民の健康増進を図るとともに関係団体相互の親睦を密にし、レクリエーション運動の推進を図る。												R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①2,283人		100.0%	7.6%	新型コロナウイルスの関係で大会が中止となった加盟団体があるため。	高齢者の健康増進に寄与した。
		期間	H11~												0.19人	0人	②13団体					スポーツ振興課長 廣谷 貴紀

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																	
				会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)																
353	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	弓道連盟と土地賃貸借の諸条件について協議を慎重に重ねている。令和4年8月1日を目的に契約を締結する予定である。今後は、契約を締結した後は、契約書第4条2に記されているとおり、具体的な計画の進捗確認が必要となる。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①一般市民施設利用者数	弓道連盟以外の一般市民への開放が公共性の担保に繋がり、また、市民の健康増進に寄与することを目的としていることから、一般市民施設利用者数を目標値とした。 目標値としては、前年より増やすことを目標とした。	R3目標値が未達成の理由・分析	土地賃貸借契約締結に向けて、対象地の測量及び分合筆登記委託事務を行った。	どのよう貢献したか									
		北中運動場用地貸付事業	根拠法令												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②					R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
			所沢市財産規則、所沢市普通財産貸付基準												1,500千円	1,430千円	③													
			事業の目的及び具体的な内容												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績									R3目標	R3実績	弓道場の供用開始については、令和4年以降であるため、現時点で利用者はいないため。		
			所沢市弓道連盟は西新井にあった弓道場の閉鎖後、射場不足のため、自己資金で弓道場建設用地を探していたが、適当な土地が見つからなかったため、本市へ借地の要望があった。そこで本市が所有する土地を、弓道場用地として貸付を行うことにより、北中弓道場の一部の有効活用及び市民のスポーツ活動を支援し、もって市民の健康、福祉を増進することを目的とする。												0.00人	0人	①0名													
期間	R3~	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②	R4目標		今後市民の健康増進に寄与するものとなる。																							
		0.31人	0人	③																										
		2,474千円																												
354	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	令和元、2年度と新型コロナウイルスの影響により、市役所会議室でスポーツ大賞のみの開催となりましたが、令和3年度は市民体育館サブアリーナでスポーツ大賞およびスポーツ協会賞を新型コロナウイルスの感染対策を実施したうえで開催しました。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①候補者推薦件数	表彰式参加者数 (参加者数÷前年度参加者数×100)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	表彰式の内容をYouTubeに掲載し、広く市民に周知を図った。	どのよう貢献したか							
		スポーツ大賞表彰式開催事業	根拠法令												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②							R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			所沢市スポーツ大賞設置及び表彰要綱												159千円	132千円	③													
			事業の目的及び具体的な内容												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績											R3目標	R3実績	目標達成済
			スポーツ界で優秀な成績を収めたもの及びスポーツの振興に寄与したものを顕彰することで、市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起することを目的とする。												0.27人	0人	①12人													
期間	S47~	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②	R4目標		市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起した。																							
		0.28人	0人	③																										
		2,234千円																												
354	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	地域住民を中心とした運営により、令和2年1月に20周年目を迎えた。クラブの種目については現在14種目となっている。成果指標についても、新規会員の獲得に向けた取り組みを行っており、おおむね目標を達成している。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を																		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加												R3予算現額	R3決算額(見込み)	①会員数	会員数維持率 (今年度会員数÷前年度会員数×100)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	コロナ禍により活動自粛期間が長かったが、クラブ活動を実施した団体については、新型コロナウイルスのガイドラインを遵守しつつ活動を行った。	どのよう貢献したか							
		総合型地域スポーツクラブ支援事業	根拠法令												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②種目別活動数							R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			スポーツ基本法												0千円	0千円	③													
			事業の目的及び具体的な内容												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績											R3目標	R3実績	新型コロナウイルスの影響により活動場所の制限が多く、クラブ活動自体が行われていない状況から、会員数が減少したことによる。
			所沢市総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うことで、クラブの拡充による住民自治活動の推進やスポーツ人口の拡大など、生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興に寄与するため。												0.06人	0人	①802人													
期間	H12~	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②14団体	R4目標		市民のスポーツ活動への場の確保に寄与した。																							
		0.13人	0人	③																										
		1,037千円																												